

## スクート、クルーバンク搭載の B787 を受領

スクート(日本・韓国支社長:坪川成樹 日本支社:東京都港区)はシンガポール・チャンギ空港にクルーバンク搭載のドリームライナー、ボーイング 787 が今夜到着したことを発表しました。2017 年内にさらに 3 機(計 4 機)の受領を予定しております。これにより今年 6 月に就航するシンガポール～アテネを始め、LCC であるスクートの長距離路線サービスが可能となります。

米国シアトルのボーイング・エバレット・デリバリー・センターにて、「Mous-Scoot-Ka」(一般的なギリシャ料理 Moussaka)と名付けたボーイング 787-8 が引き渡され、スクートは今年 6 月のシンガポール～アテネの直行便や今後の長距離路線の展開を進めていきます。

スクートの CEO、Lee Lik Hsin は引き渡し式典にて次のように述べています。「アジア・太平洋地域を超えたエリアのお客様にサービスを提供するという我々のビジョンは、クルーバンクが搭載されているボーイング 787 の納入で実現します。スクートと姉妹航空会社のタイガーエア・シンガポールは、現在アジア太平洋地域に 16 カ国、59 都市のネットワークを有しています。この地域での豊富な経験をもとに今後長距離路線サービスを展開してきます。」

また、ボーイングのアジア太平洋インド販売担当、シニアバイスプレジデントである Dinesh Keskar は次のように述べています。「LCC 業界で挑戦し続けるスクートが、今後シンガポール～アテネなどの長距離路線の運航を開始することを祝福し、引き続き良きパートナーシップでありたいと思っております。」

このクルーバンク搭載の機材は、329 席(内スクートビズ 18 席)となり、現行の 335 席(内スクートビズ 21 席)と比較し 6 席少なくなります。これらの機材には 6 つのバンク(寝台)が備えられています。長距離路線の客室乗務員は 10～11 名で構成されます。

今回の保有機材の拡張は、スクートの長期的な成長戦略の一部です。2016 年 5 月にスクートとタイガーエア・シンガポールのブランド統合を発表した後、2 つの航空会社は 1 つのスクートブランドとしての運営に取り組んでおります。

### 引き渡し式典の様子



スクート CEO Lee Lik Hsin (左)、ボーイングのアジア太平洋インド販売担当、シニアバイスプレジデント Dinesh Keskar (右)



スクートチームと“Mous-Scoot-Ka”



スクート シニアバイスプレジデント、フライトオペレーション 機長 Eugene Antoni (左), スクートCEO Lee Lik Hsin,(右)

※引き渡し式典の写真は <http://xfs.jp/7QkJw> よりダウンロードください。ダウンロード利用不可の方は下記までご連絡ください。

### スクートについて

Scoot™はシンガポール航空グループの Budget Aviation Holdings Pte Ltd が運営する中長距離路線運航のLCCです。2012年6月のサービス開始以来、累計700万人以上のお客様にご搭乗いただいております。全路線をボーイング787(ドリームライナー)で運航する世界初の航空会社です。シンガポールと東京・大阪・札幌・シドニー・ゴールドコースト・パース・メルボルン・バンコク・台北・高雄・天津・瀋陽・南京・青島・香港・杭州・広州・大連・ソウル・ジッダ・チェンナイ・アムリサル・ジャイプルの9カ国24都市を結んでおり、今後、アテネへの就航を予定し、さらにそのネットワークを広げていきます。

受賞履歴: AirlineRatings.com による「2015,2016,2017 ベストLCC」でアジア・パシフィック部門第一位

航空券のご購入はホームページ: [flyscoot.com](http://flyscoot.com)、コールセンター: 03-4589-9464、もしくはお近くの旅行会社までお問い合わせください。詳細はウェブサイト: [flyscoot.com](http://flyscoot.com) をご参照ください。

本件に関する問い合わせ:

スクートPR 担当 山口奈央 EMAIL: [nao.yamaguchi@scoot-tigerair.com](mailto:nao.yamaguchi@scoot-tigerair.com) TEL: 080-6903-2553